

令和6年度 第8回 昭島市社会教育委員会会議・要点録

開催日時／会 場 令和6年11月28日（木）午後7時00分～9時15分 204会議室＋Web会議

出席者 ニノ宮リム議長、谷部副議長、鈴木委員、指田委員、小池委員、齋藤委員、
石川委員、信國委員、平委員

欠席者 渡部委員

事務局 塩野社会教育係長、久保社会教育主事

1 開 会

＜配付資料＞

資料1 第66回全国社会教育研究大会茨城大会及び第55回関東甲信越静社会教育研究
大会茨城大会第5分科会出張報告

資料2 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会開催要項

資料3 令和6年度市民のニーズをつなぐ・活かす あきしま会議企画書

資料4 令和6年度昭島市社会教育関係委員研修会企画書

資料5 関係委員研修過去開催一覧

昭島市月間予定表 12月

2 報 告

（1）令和6年度第66回全国社会教育研究大会茨城大会について（報告）（資料1）

※ 副議長より資料の説明

（2）令和6年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会について（報告）

※ 参加委員より説明

3 協 議

（1）東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会について（資料2）

事務局 12月14日町田市民ホールにて都市社連協の社会教育委員の交流大会が開催される。

〆切が明日なので参加者を決めたい。

～参加者募り、谷部副議長と久保社会教育主事が参加することに～

（2）令和6年度市民のニーズをつなぐ・活かす あきしま会議について（資料3）

事務局 今年度は2月1日（土）に市民ホールにて開催する。時間はこれから決めたい。チラシ案に協力で生活コミュニティ課と書いてあるが、自治会長あてにチラシを配り集客してくれるとのこと。タイムスケジュールは昨年のもを載せているので、内容はこれから詰めていきたいと考えている。平成30年度から開催しており、過去の経過を一覧表にしている。参加者は小・中学生～大人まで幅広い。グランドルールが定められていて、対話しやすい環境を整え、皆さんが話しやすい場となるようにしている。小グループで話をするのが基本。昭島を拠点に活動している方に事例発表をしてもらう。その他補足

をお願いします。

議 長 第1回目が平成30年度から始まり、第7回目まではコロナ渦でのオンライン開催を除き、基本同じ方法で開催。一番スタンダードな形というのが5、6人のグループに分かれて2人報告者を決め、昭島市内で行っている市民活動や社会教育的な講座について30分位かけて報告する。それに対して、グループの中で自由な意見や情報のやり取りをする。それが終わったら次の方が報告をし、またグループ内で話し合う。その2ラウンドが終わってから休憩を挟み、全体会で共有するというもの。コロナ渦ではオンラインで形を変えて若者の活動を発表し合うこともあった。第7回で元の形に戻して開催したところ、参加者の中から次のステップに進もうという提案が出たので、市民の活動の中から出てきた課題について具体的に解決するための取り組みをするようなステップに進めないかということだったので、第8回は若者と一般に分かれ、若者は地域の中でやりたいことをプロジェクト化していくということを目標とした話し合い、大人は市民の社会教育活動をより活性化するために情報共有の発信、施設面での改善点や課題を解決するためのアイデアを話し合った。前期の社会教育委員会議の中で、もう一度初心に帰ってスタンダードな形に戻ってみてはどうかという話になっていたかと思う。

前回からの成果としては、以前も生活コミュニティ課の職員が個人的に参加していたが、コミュニティ課のネットワークであきしま会議を共有してくれたり参加者を呼びかけたりして盛り上げてもらえる。

本日決めなければいけないことが、時間と進め方。会議自体は3時間である。

事務局 午前スタートだと9時からになると思うが、今までは午後が多かった。

議 長 午後で都合が悪い方がいなければ午後1時～4時としたい。内容について、スタンダードな形に戻るということでよいか。

委 員 はい。

議 長 では、スタンダードな形で行うということで、スケジュールは前回のものではなく、変更しないといけない。

事務局 第1ラウンドで意見交換も含め50分間、休憩10分挟み第2ラウンド意見交換も含め50分間。第2ラウンドが3時10分に終わるので、その後10分間で各グループでの気づきなどを共有。3時20分から35分間で全体共有。3時55分から連絡閉会の言葉があり、4時終了であった。

議 長 これまでは、前回参加した人が他の人を誘ってくれたり、同じグループの別の方を紹介してくれたりした。これまで参加してくださった方には事務局からお誘いのメールをしてもらう。また、社会教育委員のネットワークで参加者をお誘いできれば。

副議長 先ほど自治会という話があったが、自治会連合会に声をかけるのか。

事務局 自治会連合会の会合が12/5にあるのでそこで自治会長あてにチラシを渡してもらう。NPO法人の連絡協議会にも配布する。その他、市民活動補助金を交付されている団体にも声をかけてもらおうと考えている。

副議長 せっかくなので自治会長からも悩みや課題などを発表してもらいたい。自治会の加入率が30%を切ったと聞いているので。

事務局 生活コミュニティ課へ話をして個別に声をかけてもらえるかどうか確認してみる。

- 議 長 自治会もそうですし、子ども会も。
- 委 員 子ども会、私のところは最近また盛り上がってきているので、知っているところには声をかけてみる。先日チラシを見たのだが、子ども未来課主催で子ども未来会議がありますよね？もう終わってしまいましたかね？
- 事務局 12/22 にアキシマエンスで開催。テーマは、居場所について考えよう。定員 20 名。市内在住在学在勤の中学生から概ね 24 歳以下の方を対象にしている。参加者募集中である。
- 委 員 この会議がうまく終了したら、参加した子どもたちに声をかけるのもよいかもしれない。
- 議 長 あきしま会議の申込みの期限などはどのように設定するのか。
- 事務局 1 月 1 日・15 日合併号の広報にて募集記事を載せる。1 月 6 日から申込順で参加者を受け付ける。
- 議 長 報告者の募集はどうか。報告者には事前に書いてもらうものがあるので。
- 委 員 QR コードからメールアドレスに飛ぶのではなく、LOGO フォームに飛び、報告者として参加してもらえるのか聞けるとよい。
- 委 員 以前参加した際、現在行っている活動を紹介してくださいと言われたので、自分の活動を紹介した。特に困っていることはなかったが、自分の活動について他の参加者がいろいろ考えてくれた。何が目的であきしま会議に参加しているのかよくわからなかった。発表者に何を求めるのかを明確にしておいた方がよいだろう。
- 委 員 困っていることはないけれど、活動を発表する場であるならそれならそれでよいと思う。
- 議 長 あきしま会議の出発点は、社会教育委員会として社会教育に関して市民にどのようなニーズがあるというのをわかっていないので、わかっていないと意味のある会議にならない。ニーズを把握するために自分たちがいろいろな活動の情報を得ることが必要である。ニーズについてすでに活動している人たちが出し合う場が必要である、というのが出発点。ラウンドテーブルというじっくり一人ひとりが発表するという方法を取った。あきしま会議の前身は団体向けの研修会であった。研修会といっても行きたいというニーズがあまりないので、受け身の研修会ではなく、自分たちが行っていることについて発表し伝え合い、昭島はどういうふうになっていくとよいか、社会教育をやりやすくするためにどうすればよいかについて建設的に話し合いができる場を行政の仕組みにつなげていける場にできればよいなということで始まった。
- 副議長 最終的には昭島をよりよくしていこうと活動している。宮崎大会にてあきしま会議のことを発表した様子がホームページから見られる。
- 議 長 宮崎大会のリンクを委員に共有してもらいたい。それをチラシでどう表現するか。過去のあきしま会議は中学校の生徒会に声をかけたこともあった。
- 副議長 前は拝島中学校の生徒が 3 名参加した。
- 委 員 趣旨を説明して参加を促せば出席も可能であると考ええる。
- 議 長 生徒会やクラブ活動等の報告者としての参加も可能であれば先生の方からお声がけしていただければ。

委員 わかりました。

委員 最終的には1/21の社会教育委員会会議までには全て決まっていなければならない。年内には発表者も決まっていなければならない。

議長 チラシは数日内には確定させる。次の会議（12/18）までには、声をかけて、報告者をできるだけたくさん集めなければならない。目標15人、最低でも10人は報告者が必要。12/18までの状況を次回会議で確認し、足りなければ年末年始に声をかけていかなければならない。

（3）令和6年度昭島市社会教育関係委員研修会について（資料4・5）

議長 昭島市社会教育関係委員研修会について事務局より説明をお願いします。

事務局 社会教育委員、公民館運営審議会、スポーツ推進員、青少年委員の4団体がメンバーであり、そのメンバーの研修会である。コロナ渦でしばらく休止していたが、年に1度開催している。幹事を持ち回りで行っており、今回は社会教育委員が幹事となっている。内容は前期の社会教育委員会会議でSNSデマについてと決まっている。2/28（金）に開催する。研修会後に懇親会を予定していたが、公民館喫茶室リルケが使用できないため、懇親会はなしと考えている。

事務局 ケータリングは可能であると聞いている。

議長 懇親会をやりたい方はいるか？

委員 今まで何度も出席しているが、他のメンバーに顔馴染みの方でもない限り、同じ委員同士で固まってしまう傾向にあった。なくてもよいのでは。

議長 では、グループワークの中で交流を深めるということで、懇親会はなしとしましょう。

副議長 内容は決まっているが、時間はどうするのか。案内状はいつ頃出すのか。

事務局 事前に日程は伝えてあるので、早急に出さなくてもよいかと思う。内容についてある程度決まってからの方がよいと思う。

議長 内容についての案を次回社会教育委員会会議までは厳しいので、その次で大丈夫か。

事務局 大丈夫である。

副議長 今まで懇親会を行っていた際、時間は1時間としており、物足りない感じもあった。90分、100分位あってもよいのでは。

事務局 他の委員の方に再度日程と、テーマとしてSNSとデマを考えているとお伝えしておく。

議長 時間は7時から8時30分位までになるかもしれない。

次回	12月18日（水）午後7時より	204会議室+Web会議
	1月21日（火）午後7時より	204会議室+Web会議
	2月19日（水）午後7時より	204会議室+Web会議
	3月19日（水）午後7時より	204会議室+Web会議
	4月22日（火）午後7時より	会場未定